

『無償の愛』 ～ 『心の鏡』 ～

2024 年 1 月 14 日は、2008 年から始め、今年で 16 年目を迎える『東久留米がん哲学外来』(インターナショナル・スクールのクリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン:Christian Academy in Japan: CAJ に於いて)に赴く(画像)。初参加の方で個人面談の予約もあるとの連絡を 担当者の小林真弓氏から受けた。

CAJ の小学校の校長を務める Wife は、毎回参加者の皆様に お菓子を作って持参している。CAJ のキャンパスを提供して頂いている KBF (Kurume Bible Fellowship) のスタッフの方には、ただただ感謝である。

CAJ は、1950 年に設立され、幼稚園から高校まであり、授業は すべて英語で行われている。多くは、アメリカ国籍であるが、日本、韓国、他 20 カ国以上の学生が在籍している。

卒業後は海外の大学に入学するものが多いが、日本国内の大学への入学資格も認められている。筆者の娘は、CAJ 卒業後 アメリカの大学、息子は、1908 年創立されたカナダのバンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学(The University of British Columbia: UBC) 大学に入学した。

新渡戸記念庭園(Nitobe Memorial Garden)は、UBC のキャンパス内にある植物園で、1933 年ビクトリアで客死した新渡戸稲造(1862-1933)を記念したものである。筆者も数回訪れたものである(画像)。懐かしい思い出である。

『東久留米がん哲学外来』の後は、東久留米駅前にあるEast Side カフェで定例の『読書会』である。2007年から新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めている(画像)。今回は、【代表的日本人(内村鑑三著)『中江藤樹(1608-1648) — 村の先生 4章「近江の聖人」』】である(画像)。

『定職もなく 貧乏のどん底であった時』の内村鑑三(1861-1930)にとっては、『中江藤樹の無償の愛 & 生活』が『心の鏡』であったことであろう！

# がん哲学外来へようこそ

The Cancer Philosophy Cafe will meet 1-3 pm next Sunday (1/14) in the CAJ Multi purpose room, followed by the Book discussion group at 3-5pm at the East Side Cafe.

来週の日曜日、1月14日、がん哲学カフェが 1-3 pm CAJ Multi Purpose Roomであります。

その後、読書会がEast Side カフェにて3-5pmにあります。



YORISOU

Please contact Okio or Jean Hino for further information!  
詳細は樋野先生かJeanさんにお尋ね下さい！



## 武士道読書会のお知らせ

新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めております。

リーダーは順天堂大学名誉教授・一般社団法人がん哲学外来理事長で新渡戸稲造記念センター長の樋野興夫先生です。

樋野先生のユニークでわかりやすい解説とさり気なく語られるメッセージに励まされ、人生の生きる意味をあらためて考えるひとときになります。どなたでもご参加いただけます。みなさまの参加をお待ちしております。

～2024年1月から2024年12月までの日程～

毎月・日曜日 15:30～17:00

1月14日 2月18日 3月17日

4月21日 5月19日 6月23日

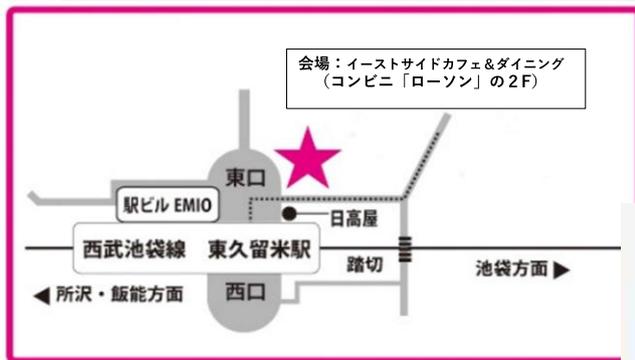
7月21日 8月25日 9月29日

10月27日 11月10日 12月15日

場所: 東久留米駅東口1分『イースト サイド カフェ & ダイニング』  
インド料理ルチラ隣(東久留米市新川町 1-3-6-2F)

参加費: 500円(会場費)

※場所は変更することがありますので三国まで連絡ください(080-5643-7265)



# 代表的日本人

内村鑑三著

鈴木範久訳



青119-3  
岩波文庫